

## 祝うひと時の重要性

ビジネスやプロフェッショナルの世界では、目標、新製品やサービス、販売ノルマ、利益を出すことなどに集中します。目標を達成するために大きなエネルギーをつかい、これらの点を追求するのです。では、私たちが目標を達成したり、なにかに成功したとき、私たちは一体どうしているのでしょうか？おそらくほとんどの場合、また新たなゴールや目標を立て、販売ノルマや利益を設定するだけではないでしょうか。そして、またすぐ次に進むのです。

多くの組織やリーダーは、自分たちのミッションや目標に没頭するあまり、達成を祝ったり感謝することなく、大きな節目や勝利の瞬間を駆け抜けてしまいます。例えば、想像してみてください。3人の登山家が巨大な山を登り頂上に到達したとき、遠くに別の高い山を見つけたとします。彼らは、自分たちが成し遂げた登頂を楽しむのではなく、急いでこの“ほぼ不可能山”を降りて、次の新たなチャレンジがある山に向かっていくのです。

愚かだと思いませんか？ですが、私たちはこのようなことをよくしています。「薔薇の香りを嗅ぐ時間をもとう」という格言に従わず、より大きな成果を求めて地平線に向かって突進するのです。わたし自身、自分が新聞や雑誌の編集者だった頃にこの誘惑に悩まされました。苦勞して作った最新号も、印刷が終わればすぐに次の企画、執筆、編集、デザインに移ってしまうのです。

だからこそ、いつもわたしは“一時停止”ボタンを押すようにしてきました。自分たちが成し遂げたことをチームで評価してから、次の締め切りに向けて集中力を高めるのです。私たちには、祝う時間が必要でした。

わたしの友人であり、“Monday Manna”の常連でもあるリック・ボックスは、毎日配信しているメールの中で次のように述べていました。「祝賀会などの集いは、旅の重要な一部で

す。スタッフに活力を与え、スター・パフォーマーを評価し、チームを結束させることができます。」共通の目標を達成するために、それぞれの才能やスキルを結集し、苦勞しているときは、仲間意識を高めることができます。ですが、同じ仲間意識(esprit de corps 団結心と呼ぶ人もいます)は、仕事がかうまくいったときに一緒に喜びを分かち合うことで、より強固なものになるのです。

良い事例を旧約聖書「ネヘミヤ記」に見ることができます。イスラエルの民は、エルサレムの城壁を再建し、街中に家を再建して住み、自らの「不可能なミッション」を、達成したのです。強い反発に遭いながらも、52日間という驚異的な期間で再建を完了したのです。それは、まさに祝福すべきことでした。そして、彼らは祝ったのです。

ネヘミヤ記12章27節には、「彼らはエルサレムの城壁の奉献式のときに、レビ人を、彼らのいるすべての所から捜し出してエルサレムに来させ、シンバルと十弦の琴と立琴に合わせて、感謝の歌を歌いながら喜んで、奉献式を行おうと祝った。」とあります。イスラエルの人々は、この後も様々な困難に直面することになりますが、自分たちが成し遂げたことを祝う重要性を認識していました。

古代イスラエルの王の中で最も賢く、最も優れた人物と言われているソロモン王も、祝う大切さを理解していました。「見よ。私がよいと見たこと、好ましいことは、神がその人に許されるいのちの日数の間、日の下で骨折るすべての労苦のうちに、しあわせを見つけて、食べたり飲んだりすることだ。これが人の受ける分なのだ。(伝道者の書5章18節)」

あなたの職場でも、祝う機会を是非大切にしてください。そうすれば、チームに活力が生まれ、モチベーションも高まるでしょう。

## もっと深めるために：

1. あなたの職場で「祝う」という言葉をよく耳にしますか？重要な目標やプロジェクトの完了を最後に祝ったのはいつでしょうか？

2. そのような、何かを祝う集まりに参加することをどのように感じますか？もしあなたの組織が、達成したことを喜ぶよりも次のプロジェクトへすぐ移るような組織だとしたら…このように祝う機会が与えられるとどのようになると思いますか？

3. 勝利の感動の瞬間を味わうため、「一時停止ボタン」を押すことが難しい人がいるのはなぜだと思いますか？また、この人々のように達成の成果を祝う機会がないと、周囲の関係者にどのような影響があると思いますか？

4. あなた自身やあなたが属するチームが、すぐに次の困難な課題に向かうのではなく、「バラの香りを嗅ぐために立ち止まり」、実際にそのひと時を祝えるようにするには、どのようなステップを踏めばよいでしょうか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：伝道者の書 9:10、エペソ人への手紙 2:10、コロサイ人への手紙 3:17、23-24、テサロニケ人への手紙 5:16-18

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行は、はロバート・J・タマシー氏によって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC が毎週発行しているメールマガジンです。CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で

働く従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。